

昭和 55 年 度 (1980)

研 究 会 会 誌

第 5 号

八 戸 工 業 大 学

一 般 教 育 部

目 次

1.	ヘルダーリンの「エムペドクレスの死」における神的世界 ー作品解釈の試みー	小林 繁吉	3
2.	「マルテ」完成後のリルケ ー創作の危機をめぐる考察ー	水沼 和夫	15
3.	『ダニエル・デロンダ』 ーグウェンドレンとデロンダの接点を求めてー 川上美津子		25
4.	トマスの詩作態度 ートマスの詩における視点についてー	岩崎 光洋	37
5.	Re-Interpretation of Resolution and Independence ー Tintern Abbeyとの関係を中心としてー	森 茂利	45
6.	日本文学寸評	小泉 威士	55
7.	動詞述語文における場所を表わす語について	安本 武正	63
8.	中国語の擬音語について ーその音と意味の有縁性に関するノート 山本 忠		71
9.	吸光光度法による松葉中のMnの定量分析 嶋森 智子 青木 秀敏		81
10.	よりよい教育方法を求めて	尾崎 康弘	91
11.	大学英語教育に関する考察 ー考察 ー正しい英語教育を築くためにー	加澤 恒雄	99
12.	HISTORY OF TELEVISION AND LANGUAGE TEACHING	平山 玄九	111

編 集 後 記

厳しく長かった冬の寒さもようやく去って、暦の上では一応立春という季節になりました。

一般教育部研究会誌第5号をお届けいたします。ご寄稿いただいた執筆者の方々の真摯なご熱意に深く感謝いたしますと共に、刊行に際し多大のご高配とご指導とを賜りました一般教育部長伊達教授に厚くお礼を申し上げます。

編集委員会といたしまして、論文配列に関し話し合いましたところ、外国文学、日本文学、語学、理学、教科、教育等に分類されるように考えられましたので、そのように致しました。ご了承下さい。

次号からは更に内容、体裁ともに拡大、充実し出来れば紀要の線までもっていけることを期待しております。

昭和56年3月

編集委員 大木 実 斉藤太治男
 竹園 洋子 根城 安伯
